

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		第16回川西市立学校校区審議会	
事務局(担当課)		教育振興部学校教育室学務課	
開催日時		平成23年6月28日(火) 午後5時00分～	
開催場所		市役所4階 庁議室	
出席者	委員	山内乾史、米川英樹、上西淳一、小谷和代、豊泉浩孝、田中利彦、 光本道尚、安田末廣、秋田修一、中井成郷、	
	その他		
	事務局	益満教育長、牛尾教育振興部長、中塚総務調整室長、 石田学校教育室長、尾辻学務課長、稲野学務課長補佐、 廣田学務課主査、尾屋学務課主任	
傍聴の可否	可	傍聴者数	4人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会議次第	議事 (1)川西市立幼稚園の園区に関する事 (2)校区外就学希望制度について (3)その他		
会議結果	審議経過のとおり		

審 議 経 過

会 長	<p>本日は次第にありますように、二つの議題があります。最初の議題は川西市立幼稚園の園区に関することについて、二つ目は校区外就学希望制度についてです。</p> <p>それでは最初の議題に入ります。前回は、幼稚園の園区に関して答申をどう作るかということについて議論していただきまして、一定の結論を出していただいたかと思っております。そのことについて、本日もう一度読み上げていただいて確認をし、全体の意思を統一したいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>「川西市立幼稚園の園区に関することについて（答申案）」をご覧ください。内容については前回お配りしたものと同じで、空白になっていた日付を本日6月28日と記入しております。答申案について読み上げいたします。</p> <p>－答申案読み上げ－</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>前回の議論の中では、二つの園を統合することになった経緯の説明がありました。また、川西の南部には私学がないということもあって、3歳児保育を開始するという状況もご説明いただきました。子どもの人口の減少等によって二つの園を統合するというのが市議会で議論され、承認された中で、当然園区もそれを踏襲して統合するという結論を前回得たかと思っております。</p> <p>このことに関しまして、ご意見等ありましたらお願いします。</p> <p>－意見なし－</p> <p>特にご意見がないようですので、答申案をそのまま審議会としての答申としたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、二つ目の議題「校区外就学希望制度について」に入ります。今後川西の学校区をどのように考えればいいのかということについて、委員の皆さんから多岐にわたるご意見をいただきました。今期の審議会が本日最後ということで、一定のまとめをした方がいいだろうということですので、文章にまとめた形で次期の審議会に申し送るということでご議論いただきました。</p> <p>特に緑台1丁目から5丁目について、議論が集中してしまっていて、前回の議論のなかで、該当地域にどれだけの人数がいるのかということについて、委員より資料の請求がありました。事務局でそれをまとめていただいたようですので、その説明をお願いします。</p>
事務局	<p>お手元資料の「川西市の学校校区のあり方について」をご覧ください。</p> <p>－資料読み上げ－</p> <p>続きまして、「緑台1丁目から5丁目にかかる学年別人口」という表をご覧ください。</p> <p>平成23年5月1日現在の住民基本台帳をもとに、該当地域の学年別人口を集計したものです。左端の列に学年の対象となる生年月日を記載し、右端には、備考としてその学年の子どもが中学校一年生になる年度を記載しております。以上です。</p>
会 長	<p>「緑台1丁目から5丁目にかかる学年別人口」の資料の説明にあわせて、「川西市の学校校区のあり方について」の文面も読み上げていただきました。</p> <p>緑台1丁目から5丁目の学年別の人口がまとめられていますが、全体としては段々と減っていく傾向にあるのが見て取れると思っております。この資料がまとめの文章に直接影響する</p>

会 長	<p>的に検討し」ということで書かれています、資料を見ると子どもの数が減っているので、それなら市全体でどうなっているのかということを感じましたので。</p>
委 員	<p>学校区毎にどのくらい増減するのかといったシミュレーションについては、これまでの会議の中で出たかと思います。今回については緑台1丁目から5丁目に限って子どもの数を出していただきました。全体についてはこれまでにシミュレーションを見て、どうなっていくのか議論し、これは校区によって違うということがあったかと思います。それ以上に何か、あるいはそれを踏まえて今後、この枠組みについて次回以降、その議論をしっかりとやって欲しいという内容を入れた方がいいのかどうかということだと思います。</p>
会 長	<p>この文章は申し送りということですので、もう少し踏み込んだ内容を入れてもいいのかなと思いましたので。</p>
委 員	<p>もし入れるとすれば、次期の校区審議会に議論を委ねたいといったことを入れてもいいかもしれません。</p> <p>次の審議会は部分修正から入ると思います。そのあとに全体の枠組みをどう考えるのかということをごどこまで議論すべきか悩むと思いますが、今期の審議会としてはそれを進めて欲しいと後押しするのかどうか、そういう事だろうと思います。</p>
会 長	<p>中段のところに、「これまでの審議において、市域の全校区を再検討するにあたり」とありますが、これから全校区をやるんだということなのか、全校区についてやってきたんだということなのか、どちらにとればいいのかなど。全校区を再検討する手始めとして、緑台に手を付けるということなのかどうか。</p>
委 員	<p>おそらく次期の審議会では、それで悩むのではないかと思います、悩ませるかどうかは今期の審議会の判断だと思います。</p> <p>また、5パーセント枠につきましても、5年毎に検証するというようになっておりましたので、枠としては考えざるを得ないかなと思います。そのことを明確に文章にするのであれば、そういった文章を付け加えるということでも構わないかと思いますが、判断としては次期に委ねるけれども、今期の意見としてはこういった形でまとめるということでもいいのかなと思います。</p>
会 長	<p>はじめは答申かなと思っていましたが、答申ではないということなので、これでもいいのかなと思っています。ただ、色々と議論を積み重ねてきた経緯があるので、もう少し踏み込んで記述してもいいのかなと思いました。基本的にはこれで結構かと思います。</p>
委 員	<p>今、議論していただいた内容は、会議録として残りますので、いただいた意見については、次の審議会に申し送る内容になると思います。委員からそういった主旨をいただいたということで、文案としてはそのままということよろしいでしょうか。</p>
会 長	<p>一意見なし</p> <p>これまで議論いただいた内容で、今回確認していただきました。次期の審議会に諮問を受けるとは思いますが、議論するにあたっては今回まとめたものを基礎として展開されるであろうと思います。</p> <p>そうしましたら、最初に申し上げた「移行期間」の「期間」を削除していただいて、中間まとめとして、次期の審議会へ申し送るという形をとりたいと思います。どうもありがとうございました。</p> <p>次にその他として何かございますか。事務局いかがですか。</p>

事務局 会長 事務局	特にごさいません。 本日はご協力いただきまして、ありがとうございます。一旦事務局にお返しします。 本日はありがとうございます。ここで、教育長より一言ご挨拶申し上げます。
会長	—教育長挨拶— これまで16回に渡り、様々な議論をいただきまして、感謝申し上げます。事務局におかれましても資料の提供や議論のサポートをしていただきましたこと、感謝申し上げます。本日はこれをもちまして閉会いたします。どうもありがとうございました。